

第16回（令和5年度）
辰野千壽教育賞
募集要項

国立大学法人上越教育大学
辰野千壽教育賞実行委員会
令和5年3月28日



1 趣旨・目的

上越教育大学では、平成20年度に創立30周年を記念し、初代学長である故辰野千壽先生の長年にわたる教育・研究業績の精神を受け継ぎ、我が国の教育に多大な影響を与える優れた教育・研究の振興に貢献するため辰野千壽教育賞（以下「本教育賞」という。）を創設しました。

本教育賞は、初等中等教育諸学校等（幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び保育所等をいう。以下同じ。）の教育現場における特色ある実践研究及び先進的取組を讃え、更なる発展に向け積極的に支援することを目的としています。

2 募集対象

初等中等教育諸学校等の教育現場において教育に携わる者で、原則、個人とします。なお、学校をあげての教育実践並びに既に受賞歴のある教育実践は、対象外とします。

3 選考方法

個人からの応募により提出された所定の応募書類及び本人が執筆し公表された著書、論文、教育実践等に基づき、本学において、本学教員で組織された辰野千壽教育賞実行委員会が1次審査を行い、学外有識者を含む辰野千壽教育賞選考会議が最終審査を行い選考します。

4 応募方法

(1) 応募書類

※様式1～3は、上越教育大学ホームページに掲載していますので、様式をダウンロードして御利用ください。

<http://www.juen.ac.jp/050about/050approach/030relation/tatsuno.html>

① 応募書

- ・ 様式1
- ・ 様式2：研究の概要について、所定の様式（A4用紙、文字の大きさは11ポイント）により、5,000字程度にまとめてください。

② 略歴及び研究・活動歴等

- ・ 様式3：受賞歴がある場合は、賞の概要及び受賞内容を記載するしてください。
【受賞歴を様式に記載の上、賞の概要等を別紙として添付でも可】

③ 添付資料（参考資料）

- ・ 研究に関連する資料（実践の内容が分かる資料）を必ず1点以上5点以内添付してください。（著書、論文、教育実践等【写しで可】）
なお、添付資料がない場合は、審査の対象とならないことがあります。

④ 返信用封筒（宛先明記、切手等貼付）

- ・ 審査終了後、応募書類の添付資料（参考資料）を返却する際に使用します。
封筒に宛先を明記し、郵便料金分の切手等を貼付してください。

(2) 送付先

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地
上越教育大学総務課総務チーム

(3) 応募期間

令和 5 年 4 月 14 日（金）から 7 月 19 日（水）まで

なお、最終日の 7 月 19 日（水）は、17 時までに本学に必着とします。

【注】① 直接持参する場合の受付時間は、9 時から 17 時までです。（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日は除く。）

② 郵送の場合には、受付期限後に到着したものは受理しませんので、郵送日数を考慮して書留により早めに送付してください。

5 発表

受賞者には令和 5 年 9 月中に選考結果を通知し、本学のホームページ等において公表します。

また、表彰式は、令和 5 年 9 月下旬～10 月上旬に上越教育大学において実施を予定しています。

6 表彰

受賞者は、次のとおり表彰するとともに、副賞を進呈します。

- ・ 最優秀賞 1 人（副賞 20 万円）
- ・ 優 秀 賞 若干人（副賞 5 万円）
- ・ 奨 励 賞 若干人（副賞 3 万円）

7 その他

応募書類に含まれる個人情報については、本教育賞の選考のみに使用し、他の目的には使用しません。

8 お問い合わせ先

上越教育大学総務課総務チーム

〒943-8512 上越市山屋敷町 1 番地

E-mail : somu@juen.ac.jp

電 話 : 025-521-3212・3214

F A X : 025-521-3220

過去の辰野千壽教育賞受賞者

《第1回（平成20年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
小 森 栄 治	日本理科教育支援センター 理科教育コンサルタント	理科授業の活性化と理科室経営に関する支援活動
白 木 みどり	石川県白山市立笠間中学校 教諭	キャリア教育と道德教育の関連に関する理論的・実践的研究 ー青年期におけるキャリア発達と道德的価値観の関係についての研究を中心にー

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
天 野 幸 輔	愛知県岡崎市立矢作北中学校 教諭	「いのち教育学」の構想と実践 ー臨床的実践の視座からの試みー
佐 藤 浩 樹	群馬県安中市立碓東小学校 教諭	地域の未来を考え提案する社会科学習 ー地域に対する主体的な実践力の育成を目指してー

《第2回（平成21年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
早 川 裕 隆	千葉県鎌ヶ谷市立東部小学校 教頭	子どもが生きる道德の授業の創造 ー道德的価値に関する「実感的理解」を実現し、自らの生き方についての考えを深めることを可能とする役割演技による道德の授業の実際を中心にー

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
五十嵐 一 浩	新潟県柏崎市立鏡が沖中学校 教頭	郷土愛を育て地域に貢献しようとする意欲を育成する指導の工夫 ー地域や外部の関係機関との連携を通してー
田 中 孝 志	長野県飯田高等学校 教諭	教師の専門性を活かした科学クラブの研究指導と科学クラブの研究成果を活かした授業実践に関する研究 ーTさんたちが考えた実験で、Tさんたちが先生だったので、興味をもって授業に取り組むことができたー

《第3回（平成22年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
上 農 肇	石川県立いしかわ特別支援学校 教諭	安全感と気づきと自己効力感とを重視した心理教育的援助サービスの展開
東 野 裕 子	兵庫県西宮市立高木小学校 教諭	プロジェクト型外国語活動の実践と評価 ー学級担任による課題解決型の言語活動を通してコミュニケーションに対する積極的な態度の育成を図るー

《第4回（平成23年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
山 本 靖	新潟県立新発田南高等学校 教諭	高校におけるG I Sの普及並びに地域振興への寄与 ーG I Sをプラットフォームにー

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
上 田 郁 子	長崎県諫早市立北諫早中学校 教諭	ポートフォリオ評価による「生きる力をはぐくむ」国語教室の創造 ー単元『歌集十四歳』を編む（中学校第2学年）・同『学校歳時記 彩』を編む（同第3学年）の構成とその展開法ー
佐久間 奈々子	新潟県新潟市立寄居中学校 教諭	自尊感情をはぐくむ支援・指導のあり方 ー価値の主體的自覚を目指す道徳授業を通してー

《第5回（平成24年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
竹 田 和 夫	新潟県立新潟向陽高等学校 教諭	生徒も教師もつなぐ「中高大の教育接続」の実践

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
青 木 善 治	新潟県阿賀野市立笹岡小学校 教頭	子どもの考える力、表現する力を育て、自己肯定感を培うための教師のかかわりと臨床的教育実践開発の追求
新 福 悦 郎	鹿児島県いちき串木野市立串木野中学校 教諭	学習内容・方法としての判決書学習による人権教育についての研究 ーいじめ裁判判決書を中心にしてー
西 澤 国 之	長野県須坂園芸高等学校 教諭	地域の課題に学ぶ「造園デザイン」教育の指導

《第6回（平成25年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
白 井 一 夫	新潟県立新潟聾学校 教諭	難聴中学生の支援 ー必要とされる支援内容と支援システム構築の可能性の両面からー

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
矢 田 敦 之	高知県安芸郡芸西村立芸西小学校 教諭	児童の算数科におけるsense-makingを基盤とする理解及び好意性に関する研究 ～探求的活動及び表現活動をもとにして～
金 城 満	沖縄県立浦添工業高等学校 教諭	表現活動が導く美術的思考力 ～中学・高校生が見つめる「家族」「病」「命」「平和」～

《第7回（平成26年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
福 田 恵	徳島県美馬市立江原中学校 教諭（徳島県立総合教育センター長期研究員）	生徒の学ぶ意欲を高める英語授業の工夫 ～生徒主体の言語活動を通して～
堀 井 利衛子	新潟県立上越特別支援学校 教頭	認知特性に応じた学習支援プログラムの構築 ―自己有能感を高める状況設定と認知特性に応じた学習方略の提案を軸として―

《第8回（平成27年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
水 谷 徹 平	新潟県長岡市立脇野町小学校 教諭	リアルな現実をみつめ、思いや考えを深めるいのち教育の実践 ～9歳半の節以降の小学生児童の表現行為を視点に～

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
長 田 洋 一	愛知県碧南市立大浜小学校 教諭	発達障害児の集団適応を促進する校内支援体制づくりを目指して ―ADHD児に対して全職員の共通理解を図り、協力を呼びかけた事例―

《第9回（平成28年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
藤 澤 憲	和歌山県立和歌山さくら支援学校 教諭	特別支援学校におけるスヌーズレン教育の有効性と可能性 ～授業実践の三項関係と手作りスヌーズレン環境の創造に視点を当てて～

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
加 藤 司	秋田県立横手清陵学院高等学校 教諭	探究型学習による、社会の一員として他者とかかわりながら共に向上する生徒の育成

《第10回（平成29年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
山之内 幹	鹿児島県立鹿児島聾学校 教諭	特別支援教育における指導記録の生かし方と教材・教具の開発

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
伊 佐 貢 一	新潟県魚沼市教育委員会 学校教育課学習指導センター 統括指導主事	教育実践の基盤となる自治的な学級集団の育成 ―ソーシャルスキル教育と自治的な学級集団づくりの研究を中心に―

《第11回（平成30年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
河野辺 貴 則	東京都調布市立富士見台小学校 主任教諭	参加型人権学習「ランキング」における学習者の認識形成過程に関する実践研究
楠 井 晴 子	大阪府東大阪市立孔舎衙小学校 教諭	自己の内面を表現する意欲と生きる力を育成する思春期の子どもの生活を基盤とする「生活のうた」づくり実践 ～日本の伝統音楽の要素を用いて～

○奨励賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
西 井 孝 明	三重県立稲葉特別支援学校 主幹教諭	特別支援学校における支援体制の強靱化に向けた取り組み ～特別支援教育コーディネーターを中心とした「チーム稲葉」の実践～

《第12回（2019年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
佐 藤 克 宣	北海道岩見沢東高等学校 教諭	高等学校公民科「倫理」における「生きる力」としての「確かな学力」の育成を図る教材及び授業の研究 ～先哲の思想を手掛かりに人間の在り方生き方の思索を深める学びをねらいとした授業の開発を中心に～
山 元 研 二	鹿児島県薩摩川内市立樋脇中学校 教諭	判決書教材を活用した社会問題の教材開発に関する研究 ～「人権感覚育成」の視点から～

○奨励賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
佐 藤 優 紀	新潟県小千谷市立東小千谷小学校 教諭	資質・能力の「3つの柱」の育成を図る授業デザインの実践的研究 ～小学校算数科において、子どものアイディアや感覚でつくる学習過程の分析を通して～

《第13回（令和2年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
赤 松 弘 一	兵庫県明石市立二見北小学校 校長	身近な自然に対する探究心を育むための実践 ～理科通信をきっかけに～
松 村 謙 一	三重大学教育学部附属中学校 指導教諭	個の育成をめざす中学校社会科経済学習の授業研究 ―同時性解消と社会的連帯の経済概念に着目して―

○奨励賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
内 野 裕 太	鹿児島県西之表市立榕城小学校 教諭	よりよい人間関係を築き、児童一人一人の自己有用感・自己肯定感を高め、本音で磨き合える学級集団の育成 ～『特別活動』における学級活動(1)・(2)・(3)を中核とした授業実践を通して～

《第14回（令和3年度）》

○最優秀賞 該当者なし

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
渡 部 敬	宮城県立聴覚支援学校 主幹教諭	「色そろばん」を使った新しい計算指導 ～計算学習に困難を示すすべての児童生徒のために～

○奨励賞 該当者なし

《第15回（令和4年度）》

○最優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
小 松 祐 貴	新潟県糸魚川市立糸魚川中学校 校 教諭	現象とモデルをつなぐAR教材の開発と授業デザイン

○優秀賞

氏 名	所属・職名等	主題及び副題
竺 沙 敏 彦	京都府城陽市立寺田西小学校 教頭	初等中等教育における数学的活動を充実させるための教材の開発と授業実践 ～数学的モデリングの手法を用いた現実世界の問題解決の体験を通して～

○奨励賞 該当者なし

第16回（令和5年度）辰野千壽教育賞 応募書

国立大学法人上越教育大学長 殿

別紙のとおり、辰野千壽教育賞に応募します。

ふりがな	
氏 名	(男 ・ 女)
生年月日	年 月 日生 [歳 (応募日現在)]
所属校（機関・部局）	
(職 名)	
所属校（機関・部局）所在地	
〒	
電 話 () -	
本件に関する連絡先	
〒	
電 話 () -	
E-mail :	

【注】 本件に関わり取得した個人情報は、辰野千壽教育賞のみに使用し、他の用途には使用しません。

※応募書提出の際に、アンケートへの御協力をお願いします。
 このアンケートは、本教育賞の広報活動の参考とするために行うものです。
 アンケートの回答が本教育賞の選考に影響することはありません。
 回答の記入は、可能な範囲で結構です。

第16回（令和5年度）辰野千壽教育賞 応募書

氏 名 _____

1. 主題及び副題

2. 研究の概要

1 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 10 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 20 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 30 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 40 ◆

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50

略歴及び研究・活動歴等

令和 5 年 月 日現在

ふりがな		
氏 名		
現 職		
最終学歴		
年	月	略 歴

年	月	実践研究等に係る活動等（主な発表論文題目・著書名等）

【注】裏面も記入してください。

年	月	受賞歴・その他（受賞歴がある場合は、賞の概要及び受賞内容）
		※ 該当がない場合は、「該当なし」と記入してください。

【注】 本件に関わり取得した個人情報は、辰野千壽教育賞のみに使用し、他の用途には使用しません。

辰野千壽教育賞 応募者アンケート

※以下の質問について、選択肢の丸数字を選ぶか、カッコ内に記入してお答えください。

問１：あなたは、今回（第16回）の辰野千壽教育賞の募集について、最初にどのようにして知りましたか？

- ① 職場の上司や同僚から情報を得た。
- ② 勤務先や教育委員会等の掲示、回覧物、配信メール等により情報を得た。
- ③ 上越教育大学のホームページを見た。
- ④ 上越教育大学の教職員から情報を得た。
- ⑤ 上越教育大学の同窓生から情報を得た。
- ⑥ 雑誌・新聞の記事や広告により情報を得た。
- ⑦ その他（具体的に： _____）

問２：あなたは、辰野千壽教育賞のことについて、いつ知りましたか？

- ① 今回の募集で初めて知った。
- ② 以前から知っていた。

=== 次からの質問は、問２で②を選んだ方がお答えください。 ===

問３：あなたが辰野千壽教育賞のことを初めて知ったのは、いつ頃ですか？

約（ _____ ）年くらい前

問４：あなたが辰野千壽教育賞のことについて、最初にどのようにして知りましたか？

- ① 職場の上司や同僚から情報を得た。
- ② 勤務先や教育委員会等の掲示、回覧物、配信メール等により情報を得た。
- ③ 上越教育大学のホームページを見た。
- ④ 上越教育大学の教職員から情報を得た。
- ⑤ 上越教育大学の同窓生から情報を得た。
- ⑥ 雑誌・新聞の記事や広告により情報を得た。
- ⑦ その他（具体的に： _____）

=== アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。 ===